

眼科

1. スタッフ（平成29年4月1日現在）

科 長（教 授）川島 秀俊
 副 科 長（学内准教授）牧野 伸二
 外来医長（講 師）井上 裕治
 病棟医長（助 教）新井 悠介
 医 員（准 教 授）高橋 秀徳
 助 教 渡辺 芽里
 病院助教 富永 聡子
 病院助教 佐野 一矢
 病院助教 坂本 晋一
 シニアレジデント 7名

新井 悠介

渡辺 芽里

・指導医

日本眼科学会専門医指導医

川島 秀俊

牧野 伸二

井上 裕治

高橋 秀徳

2. 診療科の特徴

当院では、大学病院という3次医療機関である関係上、地域の医療施設と密接に連携体制をとり、急性期の治療を中心に診療を行っている。特に、専門外来（角膜、緑内障、ぶどう膜炎、網膜・硝子体、黄斑、眼循環、ロービジョン、弱視・斜視）を充実すべくスタッフ一同、常に最新の高度医療の導入に努力している。

診断面では、通常の眼科診療に必要な機器を完備しており、さらに光干渉断層計（OCT）、ICG眼底撮影（HRA II）、広角眼底撮影装置、前眼部三次元画像解析装置、等々最新の診断機器を備えている。

治療面では、中央手術室に眼科専用手術室を2室設け、それぞれに最新の超音波水晶体乳化吸引術装置（インフィニティ）、硝子体手術装置（コンステレーション）を設置し対応している。また、加齢黄斑変性に対しては抗VEGF療法を積極的に行っている。

当院では、電子カルテシステムが導入されている。眼科においては、さらに眼科サブシステムを用いて、画像データや手術スケジュールの管理、各種病態の説明に使用しており、効率がよく、医療安全の面からも有益なシステムを構築している。

・施設認定

日本眼科学会専門医制度認定施設

日本眼科学会専門医制度研修プログラム施行施設

・専門医

日本眼科学会専門医認定医

川島 秀俊

牧野 伸二

井上 裕治

高橋 秀徳

富永 聡子

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 2,101人
 再来患者数 36,199人
 紹介率 99.5%

2) 入院患者数（病名別）

病 名	人数
白内障	1,017
眼内レンズ脱臼	6
網膜剥離	174
増殖性硝子体網膜症	6
糖尿病網膜症	128
黄斑円孔	73
網膜前膜	99
緑内障、高眼圧症	32
斜視	21
硝子体出血	54
角膜潰瘍、角膜裂孔	6
視神経炎	5
原田病	7
前房出血	3
眼球破裂	2
急性網膜壊死	4
その他	125
合 計	1,762

3-1) 手術症例病名別件数

術 式	人数
白内障手術（白内障手術のみ）	1,100
経強膜網膜剥離手術	26
硝子体手術（白内障同時手術含む）	608
緑内障手術（白内障同時手術含む）	38
斜視手術（小児・全麻）	27
角膜移植手術（白内障同時手術含む）	3
その他	58
小 計	1,860

外来手術（レーザー含む）	
眼瞼手術（内反症、下垂症）	13
眼瞼手術（その他）	69
結膜（翼状片）	61
結膜（その他）	20
眼窩	1
斜視手術	74
角膜手術	5
レーザー光凝固	1,474
その他	20
小計	1,479
合計	3,339

導入されている最新の医療機器を有効利用し、重症患者に対する質の高い医療を提供する。

3-2) 手術術式別件数・術後合併症数

該当なし

4) 化学療法症例・数

該当なし

5) 放射線療法症例・数

該当なし

6) その他の療法（免疫療法）症例・数

ペーチェット病 8例

原田病 7例

7) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

脂腺癌 5年生存率 100%

8) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

該当なし

9) 主な処置・検査

蛍光眼底造影、超音波画像診断装置、前眼部及び眼底
光干渉断層計（OCT）

超広角走査レーザー検眼鏡（OPTOS）

スペキュラーマイクロスコープなど

10) カンファランス症例

クリニカルカンファランス

毎週月曜日午後6時30分より

4. 2017年の目標・事業計画等

大学病院の眼科の使命として、教育・研究・臨床の3つを行うことが要求されている。

教育は、学生教育のみならず、専門医を育てる必要がある。最新の医療技術を安全確実に提供できる眼科専門医を養成する。

医学や医療の発展のために、単に日常診療のみに流されることのないよう、常に新知見を得る努力を怠らないように心がける。